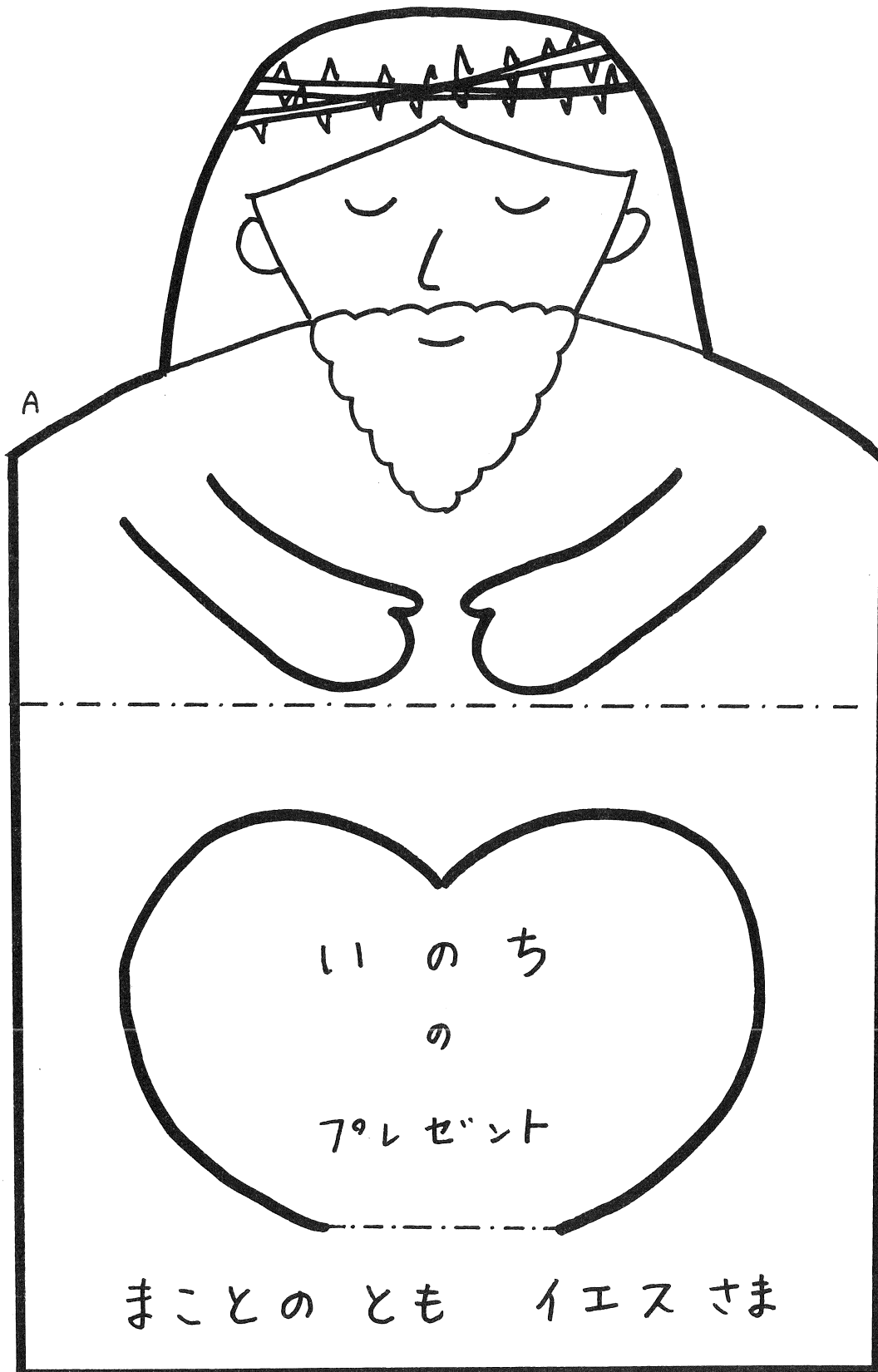


A

10/5 あいによるゆうじょう

かみによってかれをちからづけた。
サムエルじょう 23・16



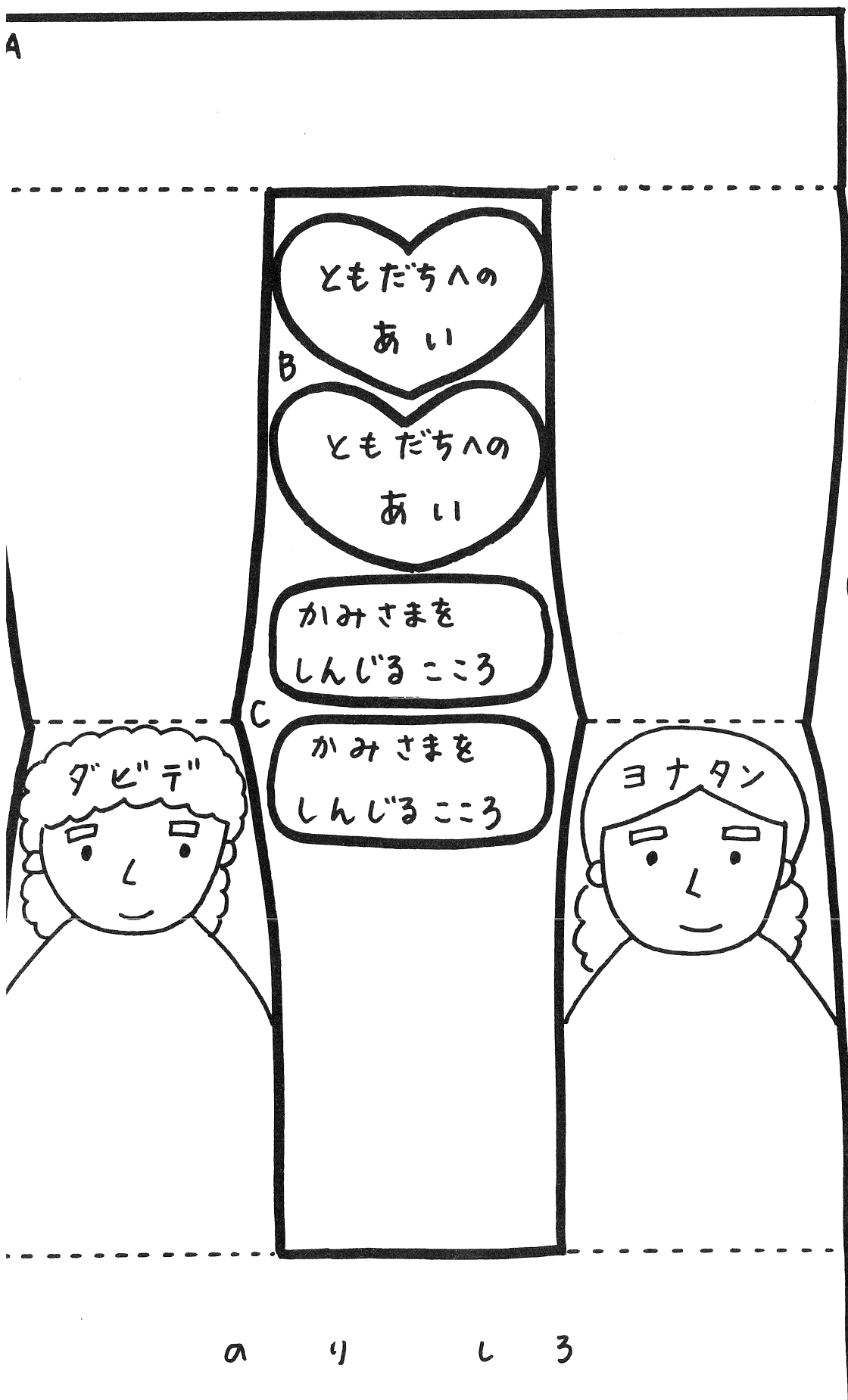
- ① Aに色をぬりて切り取る
- ② イエス様の手とハートの太線の部分に、切り込みを入れる。
- ③ 谷折り線を折って、イエス様とハートを立たせ、イエス様の手をハートの上部に^はり付け。

— 完成図 —



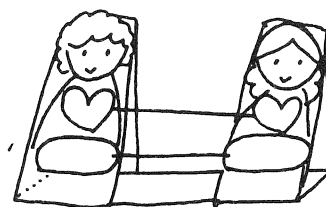
—— 切り取り線
- - - 谷折り線

かみによってかれをちからづけた。
サムエルじょう 23・16



- ① 12cmのひもを2本
用意する
 - ② Aを切り取り、ダビデ・
ヨナタンに色をぬる。
 - ③ BとCも切り取り、
色をぬり。
図のようにひもでつなぐ
-
- (ひもは、B・Cのうらに
セロテープでとめる)
- ④ Aを組み立て。
B・Cを図のように
ダビデ・ヨナタンに
は
見とり付ける。

—完成図—



—— 切り取り線
----- 山折り線

A 10/19 かみさまのはげまし

かみによってかれをちからづけた。
サムエルじょう 23・16

かみによて かれを ちからづけた。

サムエル上 23・16



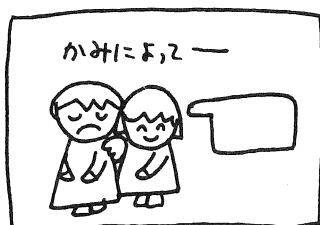
A

B

いっしょにあそんで
あげるから
げんきをだして!

おいしいおかしを
あげるよ!

—完成図—



かみさまが
たすけてくださるよ。
いっしょにおいのりしよう!

- ① Aに色をぬり、切り取る
- ② Cに色をぬり、切り取り。
Aの子どもをすぐさめる
ように、右側に貼り付ける
- ③ Bからふさわしい言葉を
1つ選んで切り取り、
Aに貼り付ける。

—— 切り取り線

C



かみによってかれをちからづけた。
サムエルじょう 23・16

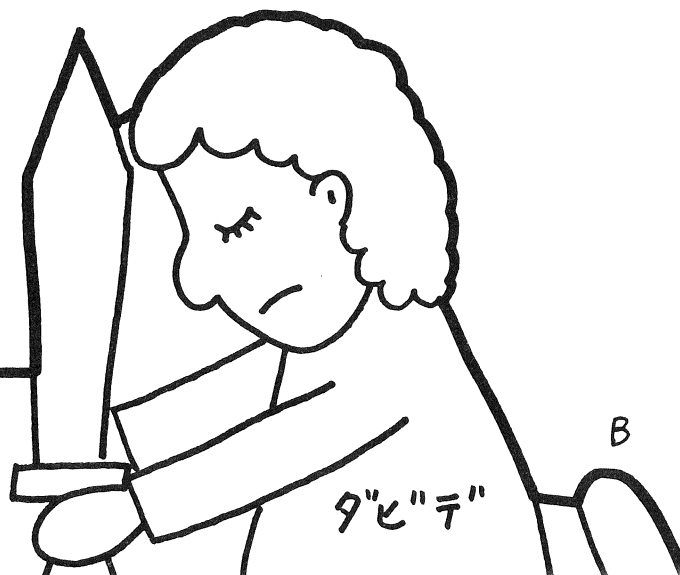
—あなたのてきをあいしなさい—



A

- ① A・Bに色をぬり切り取る
- ② サウル王の右部分の太線に切り込みを入れて
Bの帯部分を差し込む
- ③ Aの裏側から帯を左右に動かして、ダビデが
サウル王のすぐ近くまで行ったけれども
殺さなかったことを覚える。

—— 切り取り線



B

A 11/2 ダビデのさんか

サウルにあられるダビデ

あなたのいのりがききいれたのだ。

ルカ 1・13

スタート

ダビデうまれる

じゃんけんをして
からたひとが
すすみましょう！

は 1つ

は 2つ

は 5つすすめす。

かみさまはともにおられた

4つもどる

ゴリアテをたおしたダビデ

しょうねんダビデ

かみさまは
ともにおられた

かみさまはともにおられた
5つすすめす

3つすすめす

おうさまに
えらばれたダビデ

かみさまは
ともにおられた

り、はなおうさまにな、たダビデ

5つもどる

かみさまは
ともにおられた

3つもどる

つみをおかし
くいあらためる
ダビデ

1かいやすみ

かみさまはともにおられた

ゴール

かみさま
かんしゃ
します！

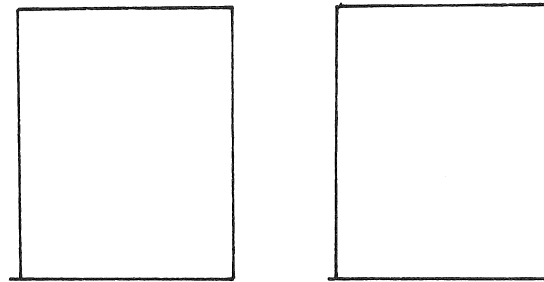
コンをふんじまう

A 11/9 ヨアシおう

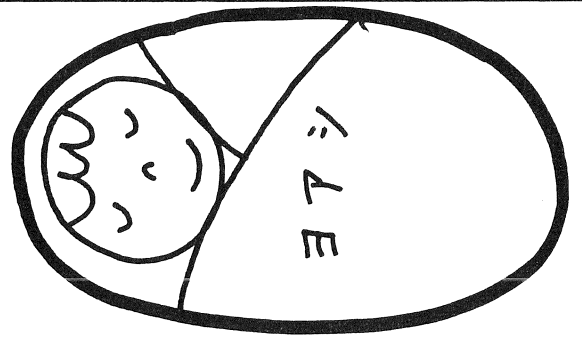
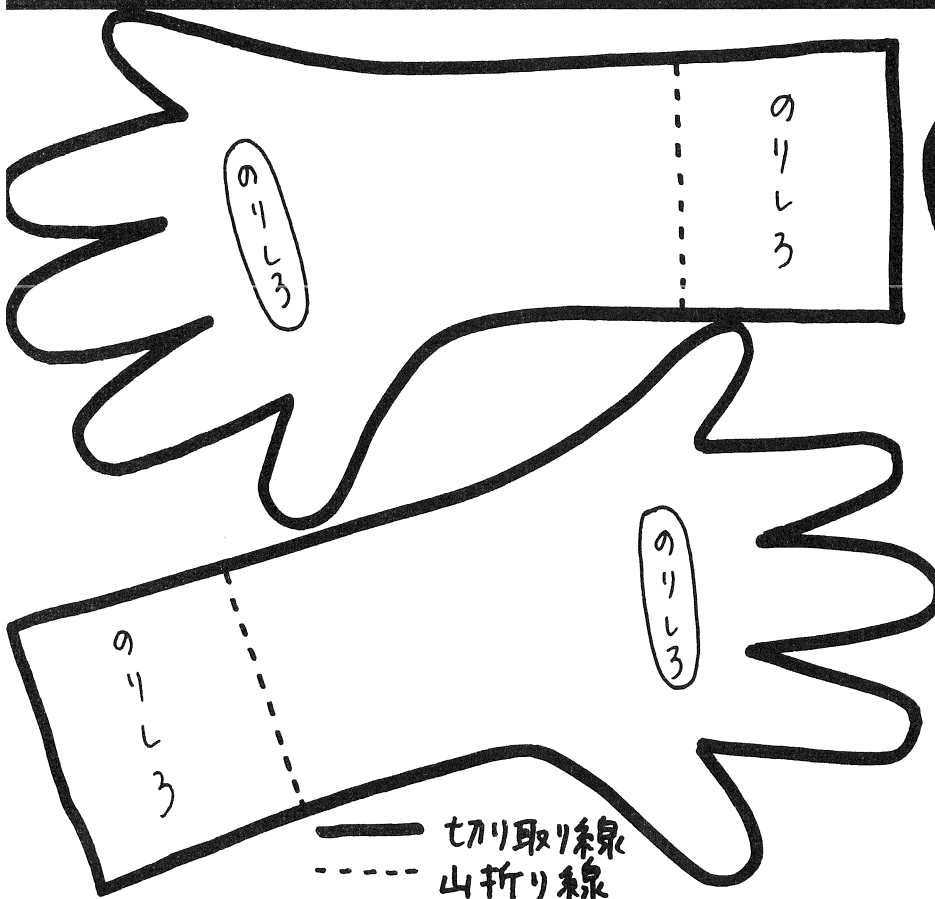
あなたのいのりがききいれたのだ。

ルカ 1・13

かみさまに まもられた ヨアシ^{おう}王

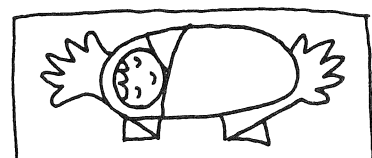


A



- ① 手とヨアシに色をぬり切り取る
- ② 手をAの口部分に貼り付ける
- ③ 手のひらの のりしろ部分にのりを付け、
片手にヨアシの頭部分、片手におり
部分を はり 貼り付ける。

—完成図—



A 11 / 16 エステルおうひ

B 新改訳

わたしは、
しななければならぬのでしたら、
しにます。 エステル 4・16

B 新共同訳

このために
しななければならぬのでしたら、
しぬかくごでおります。 エステル 4・16

B 口語訳

わたしがもし
しなねばならないのなら、
しにます。 エステル 4・16

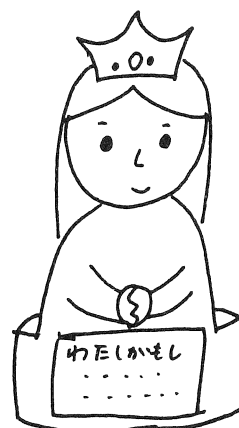
あなたのいのりがききいれたのだ。

ルカ 1・13

- ① A、Bに色をぬり切り取る
- ② Aの帯部分にCを切り取り、
つなぎ、車輪にして、エステルの
立たせる。
- ③ Bをエステルの手の下の
部分に^ははさみつける。



— 完成図 —



—— 切り取り線

の
り
し
ろ

の
り
し
ろ

C

A

1 1 / 2 3

かみ しゆくふく
神さまの祝福

あなたのいのりがききいれたのだ。

ルカ 1・13

- ①カードの余白部分に絵を描く。
 - ②太線にそって切り、祈りのカードを完成させる。
- ※お友だちとカードを交換しても良いです。

まいにち、かみさまにかんしゃしましょう！

おしょくじまえにするおいのり

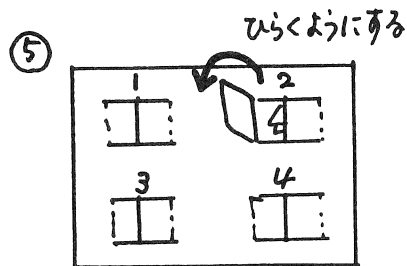
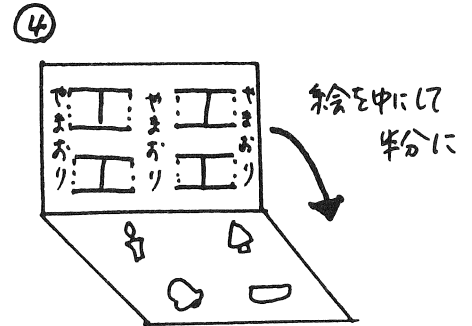
かみさま きょうも おしょくじをありがとうございます。
いつも げんきな つよいからだて いられるよう
おまもりください。
せかいじゅうのひとたちにも たべるものをあたえてください。
かんしゃします。
イエスさまのおなまえによっておいのりします。アーメン

あなたのいのりがききいれたのだ。

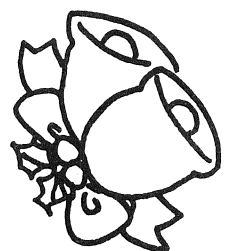
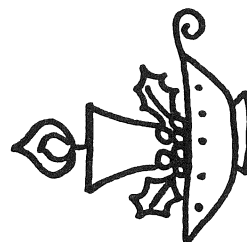
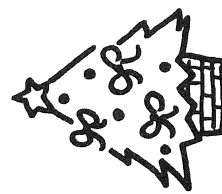
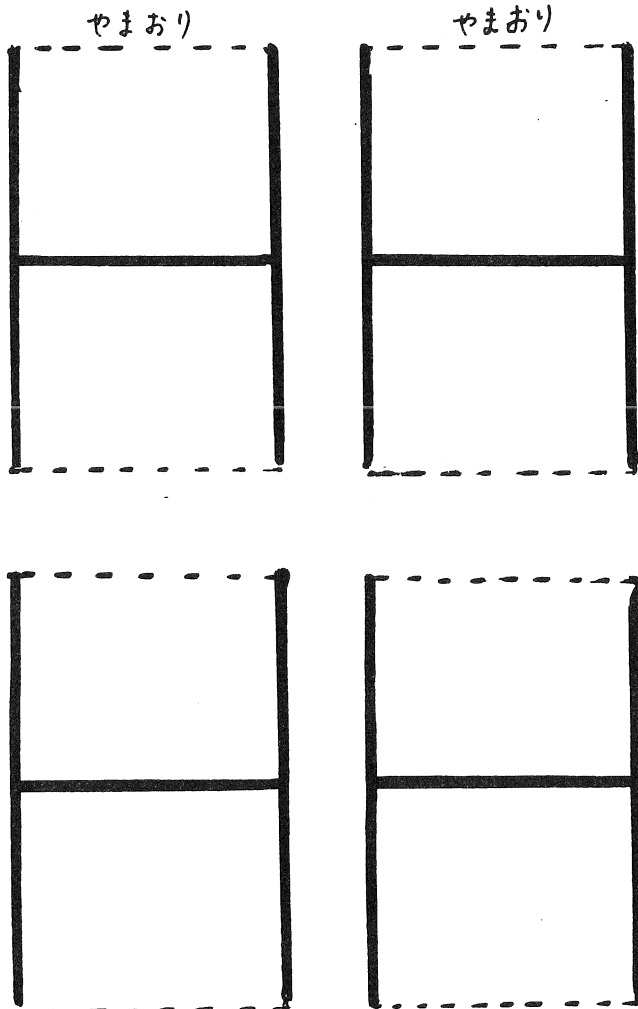
ルカ 1・13

アドベントカレンダーを作ります。

- ① 4つの絵に色を塗る。
- ② 紙の中央にある太線にそって、紙を半分に切る。
- ③ 窓のようにするため、太線にそって切込みを入れる。
- ④ 絵を中にして紙を半分に折り、四隅をのりづけする。(右図)
- ⑤ 日曜ごとに窓を開くように、窓枠に第1週～第4週と図のように書き込む。



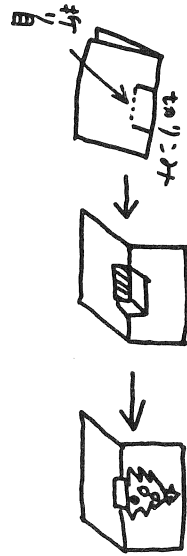
切る (A4の半分の大きさ)
↓



A

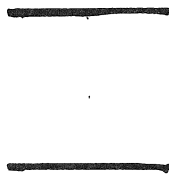
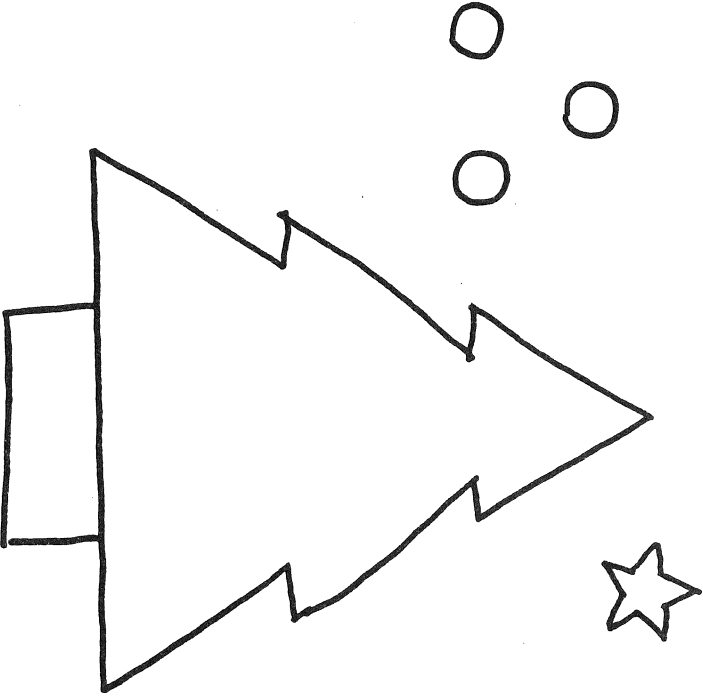
12 / 7

- ① この紙の中央の線で、紙を半分に切る。
- ② 切り取った紙を半分に折り、中央の2本線を切る。
そしてテーブルを立ち上げらせる(下図)。



- ③ ツリー、星、丸に色を塗り、切り取る。
- ツリーを星と丸で飾る。
- ④ 上図の斜線部分にツリーの幹をはる。
- ⑤ クリスマス会の案内を書き入れる。

切る →
(A4の半分の大きさ)



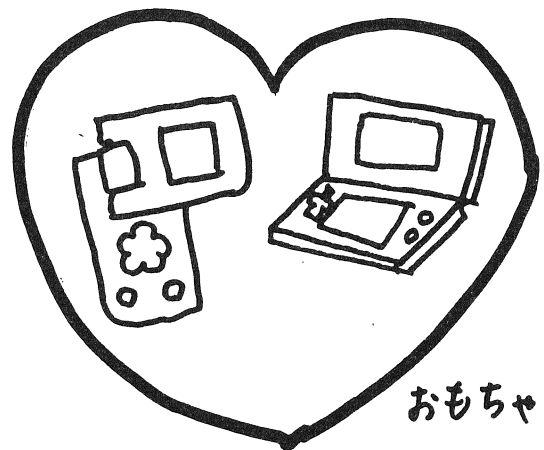
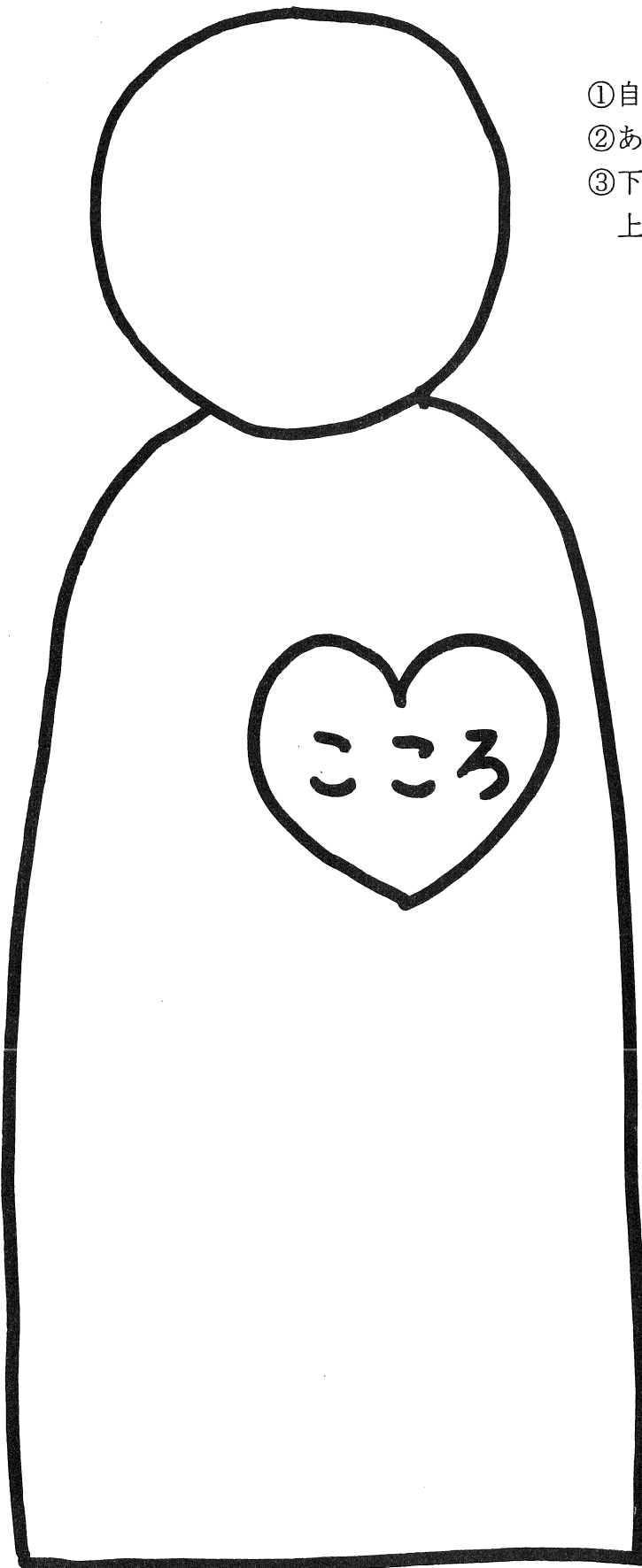
A

12 / 14

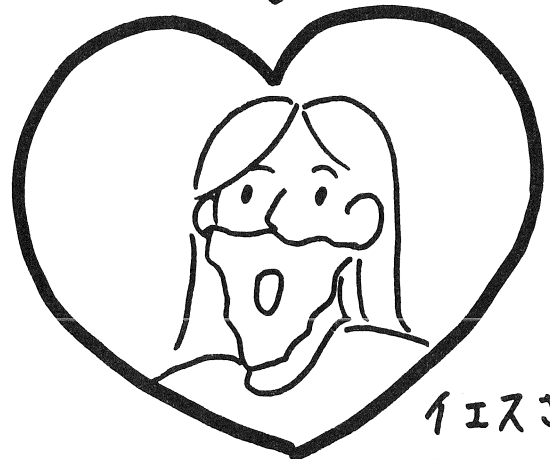
はかせ
博士たちとクリスマス

ここにあいがある。Iヨハネ4・10

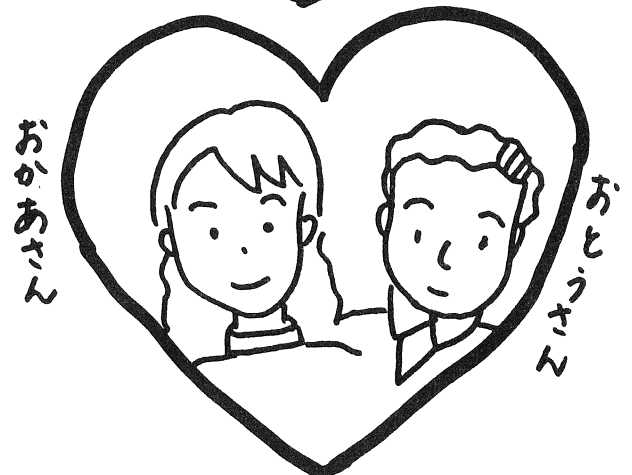
- ①自分の顔を書く。
- ②あなたのところにあるものは何ですか？
- ③下のハートの中からひとつ切り取り、こころの上にはる。それに色をつける。



おもちゃ



イエスさま

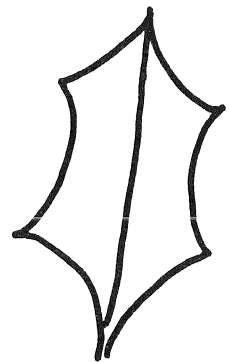
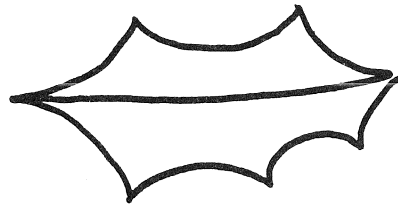
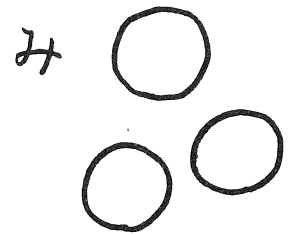
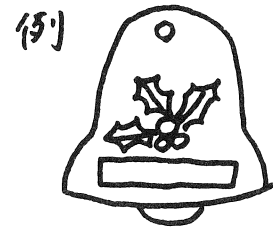
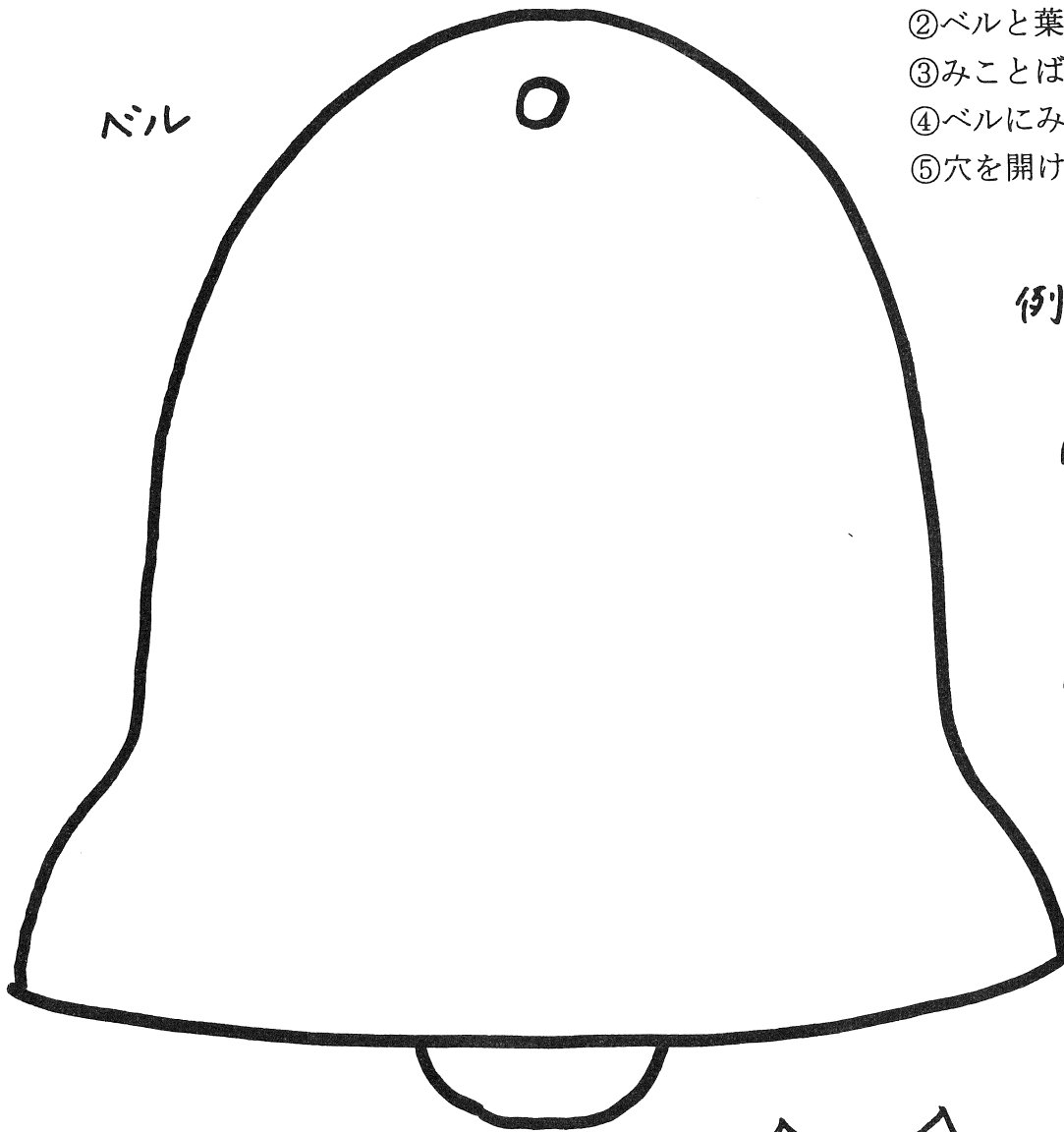


おかあさん

おとうさん

ここにあいがある。Iヨハネ4・10

- ①葉と実の色を塗る。
- ②ベルと葉と実を切り取る。
- ③みことばを切り取る。
- ④ベルにみことば、実、葉をはる。
- ⑤穴を開け、ひもをつけて飾る。



みことば

は

口語訳

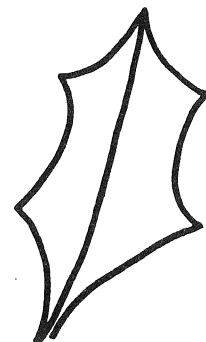
ここにあいがある。Iヨハネ4・10

新改訳

ここにあいがあるのです。Iヨハネ4・10

新共同訳

ここにあいがあります。Iヨハネ4・10

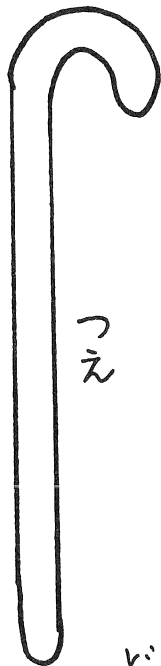
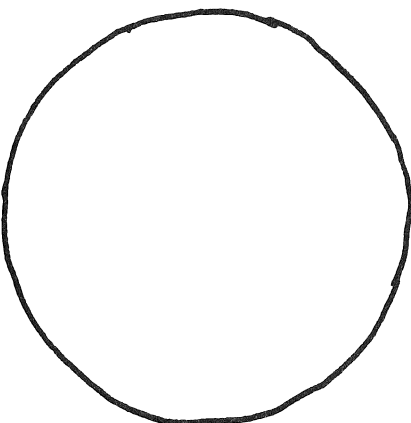


- ①丸いパーツに賛美している顔を書き、色を塗る。
- ②胴体と杖^{つえ}に色を塗る。
- ③3つを切り取り、胴体ののりしろ^{のりしろ}にのりをつけ、円すいをつくる。
- ④完成図のように、のりで顔と杖をつける。

- 完成図 -



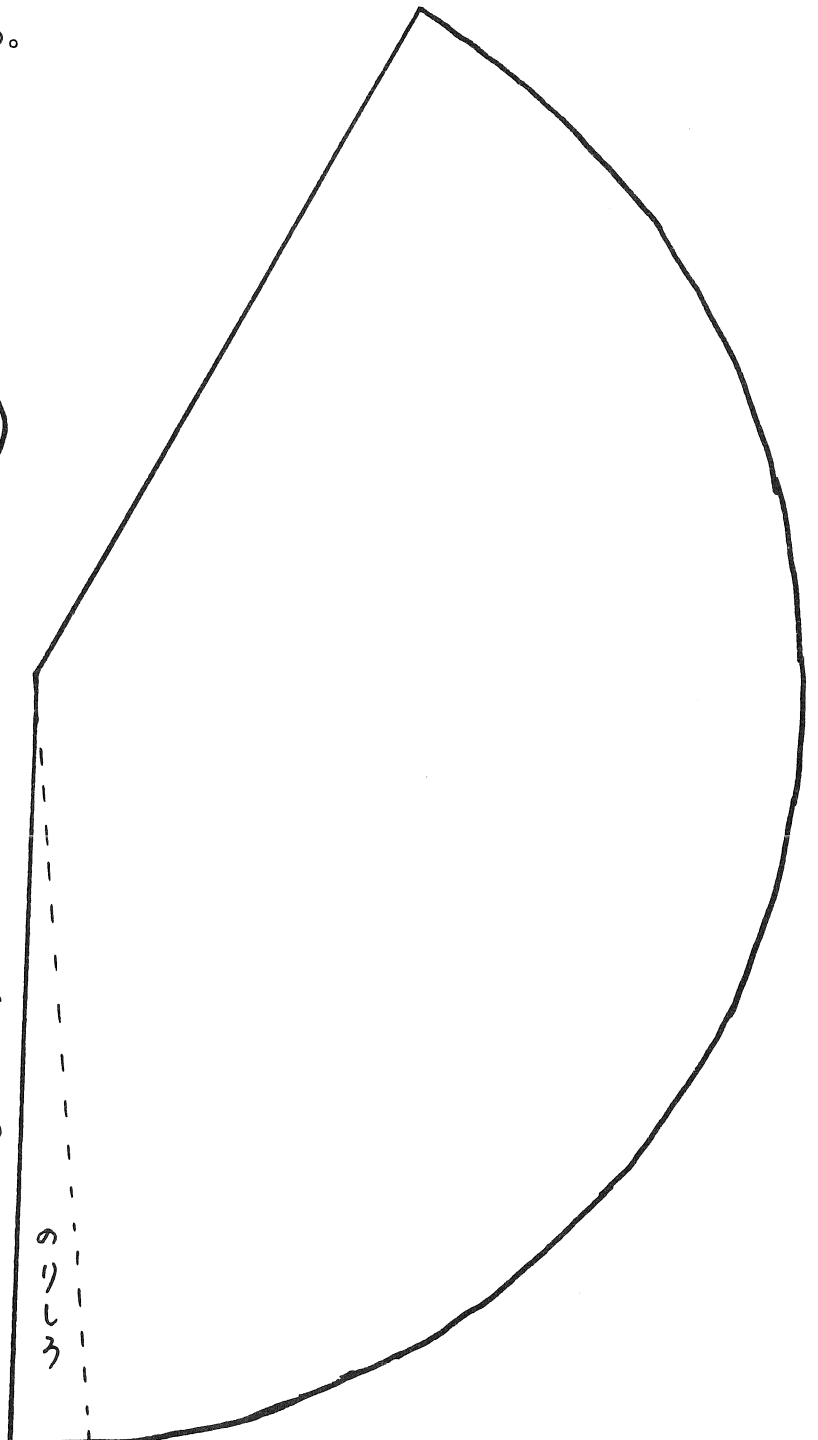
か
お



つえ

じうたい

のりしろ



ワーク A 解説 10~12月

10/5

●話し方のヒント

サウル王の息子のヨナタンは、ゴリアテを倒したダビデのことを大好きになりました。ヨナタンはダビデを大切に、自分の服や弓をプレゼントしたり、サウル王に狙われたダビデを助けたりしました。このヨナタンのように、私たちのことが大好きで、大切にしてくださる方がおられます。それはイエス様です。イエス様は私たちを罪と死という一番恐ろしい敵から助け救うために、十字架にかかって命を捨ててくださいました。イエス様は私たちに命のプレゼントをしてくださった、素晴らしい友だちです。

●ワークについて

イエス様は、一つしかない最も大切な命を、私たちのためにプレゼントしてくださったことを覚えましょう。

10/12

●話し方のヒント

サウル王は、どんな戦いに出て行っても必ず勝ってくるダビデをねたみ、ダビデを殺す命令を出しました。ヨナタンは王の命令に背き、ダビデを守ることを約束し、約束を守りました。ヨナタンには「ダビデを大切に思う心」と、「約束を守らせてくださる神様を信じる心」があったので、ヨナタンはダビデを裏切らず、二人はずっと良い友だちでした。私たちもお互いに、神様から「お友だちを大切に思う心」「神様を信じる心」をいただいて、心と心がつながっている、いつまでも離れない、良い友だちになりたいですね。

●ワークについて

ダビデとヨナタンの心と心が結ばれ、つながっていたことを覚えましょう。

10/19

●話し方のヒント

どんな戦いにも勝つ強いダビデも、サウル王に命を狙われ、追われるので、心が恐れでいっぱいになってしまいました。そこにヨナタンが来て、ダビデを「神様によって」励ました。神様が必ずダビデを守って、イスラエルの王にしてくださることを伝えて励ましたのです。私たちも悲しんだり苦しんだりしているお友だちを、「神様によって」励ましましょう。神様が友だちのことをとても大切に思っておられ、必ず助けてくださることを伝え、お友だちのためにお祈りしてあげましょう。

●ワークについて

「神様によって」励ますことがどういうことか、確認しましょう。

10/26

●話し方のヒント

ダビデが仲間とほら穴の中にいたとき、サウル王が知らずに一人で入ってきました。サウル王を殺す絶好のチャンスでしたが、ダビデは王にそっと近づいて、王の服のすそを切りましたが殺しませんでした。サウル王はダビデの命を狙う敵でしたが、神様がサウル王を大切にされていたので、ダビデもサウル王を大切にしたのでした。神様は、罪を犯して神様を悲しませる、神様の敵である私たちのことも大切に、罪を赦し救ってくださいました。私たちも、すべての人を大切に思っておられる神様のお心を知って、ダビデのように敵をも赦し、大切にしたいですね。

●ワークについて

ダビデが敵であるサウル王を大切にすることを覚えましょう。

11/2

●話し方のヒント

イスラエルの王となったダビデは、年老いたある日、今までの人生を振り返ってみました。^{うれ}嬉しいことも、恐ろしいことも、悲しいことも、苦しいこともいろいろありましたが、どんな時も、神様がダビデと共に歩んでくださいました。そして、今の幸せに導いてくださったことに気づき、心から神様をほめたたえました。私たちも、神様は目には見えませんが、どんな時も私たちと共に歩んでくださって、祝福してくださるのだと信じ、感謝しましょう。

●ワークについて

ダビデの人生をたどりながら、いつも神様が共にいてくださったことを覚えましょう。

11/9

●話し方のヒント

ヨアシは、1歳の時に家族みんなが殺されたのに、一人だけ助けられ、7歳でイスラエルの王様になりました。ヨアシは、エホヤダという祭司に支えられて正しく国を治め、偽物の神、バアルの神殿を壊し、まことの神様を礼拝する神殿の修理をして、常に神様に喜ばれる歩みをしました。それは、神様がみ手の中でヨアシを守り、ヨアシも自分を守ってくださる神様に感謝して従ったからでした。私たちも神様の大きく強いみ手の中で守られています。守ってくださる神様に喜ばれるように歩みましょう。

●ワークについて

ヨアシが神様のみ手の中で守られたことを覚えましょう。

11/16

●話し方のヒント

ペルシャの王のお妃になった、ユダヤ人エステルは、おじのモルデカイから一つのことを頼まれました。「王様にユダヤ人を殺さないようにお願いしてください」。エステルは、王の許しがないのに王の前に出るなら、殺されてしまうことを知っていたので悩みました。けれども、自分がお妃に選ばれたのはこの時のためだったとわかり、勇気をもって王の所に行ってお願いし、ユダヤ人もエステルも助けられました。神様は、私たちにも、私にしかできない仕事を与えてくださっています。勇気をもって立ち上がりましょう。

●ワークについて

エステルの決心を覚えて、私たちも立ち上がりましょう。

11/23

●話し方のヒント

神様を信じる人たちは、食事の前に必ずお祈りをします。また礼拝では毎週、主の祈りの中で「私たちの日ごとの糧を今日も与えてください」と祈ります。神様を信じる人は、家族、友だち、仕事、食べ物など、すべてのものを神様が与えてくださったと信じています。ですから、感謝のお祈りをしてから、食事を頂くのです。世界には、今日の食事に困っている人が多くいます。そのような中で私たちには、ありあまるほどの食事が用意されているのです。私たちがしなければならないことは何でしょう。神様に感謝することです。神様を第一とすることです。そうするならば、神様は、ますます私たちを祝福してくださいます。

●ワークについて

神様に感謝をささげる習慣がつくように、祈りのカードを作ります。字の読めない子どものために、声を出して読むのも良いのではないのでしょうか。

11/30

●話し方のヒント

ユダヤの国にザカリヤという祭司が住んでいました。ザカリヤにはエリサベツという名前の奥さんがいて、二人とも神様を信じる正しい人でした。しかし、残念なことに子どもがいませんでした。この二人は子どもが与えられるよう何年も祈ったことでしょう。ある日、ザカリヤが神殿で特別な仕事をするようになりました。仕事の最中に御使いが現れ「男の子が生まれます。その子にヨハネと名前をつけなさい」と告げました。ザカリヤは年をとっていたので、この言葉が信じられませんでした。私たちも、祈っても神様は本当にしてくださるかと疑ってしまうことがあります。しかし、聖書の神様は真実なお方ですから、この二人に男の子を授けてくださいました。信じて祈ることが大切です。

●ワークについて

アドベントカレンダーを作り、イエス様のお誕生を待ち望みましょう。

12/7

●話し方のヒント

イエス様がお生まれになった時、野原では羊飼いが羊の番をしていました。すると、御使いが現れ、救い主の誕生を告げたのです。羊飼いたちは羊をおいて、イエス様を探しに出かけました。御使いが言ったとおり、イエス様は飼葉おけの中に寝かされていました。イエス様に出会った羊飼いたちはどうしたのでしょうか。神をあがめ、賛美しながら帰っていったのです。救い主に最初に出会ったのは、身分の低い羊飼いでした。喜びの知らせは誰にでも与えられるのです。私たちもイエス様の誕生という喜びのニュースを、お友だちに教えてあげましょう。

●ワークについて

クリスマスカードを作り、クリスマス会の案内として用います。事前に案内を準備しておくとも良いかもしれません。

12/14

●話し方のヒント

ユダヤの国から遠く離れたバビロンで、博士たちが空を見ていると、ひときわ輝く特別な星がありました。博士たちはこの星が、救い主の誕生を示す星だとわかったので、身支度をしてすぐに旅立ちました。それは長い長い道のりでした。まず、宮殿に出向き、ヘロデ王を訪ねました。ヘロデは自分の地位を脅かす者の誕生に恐れを抱きました。宮殿を出た博士たちは、イエス様に出会ったとき、非常な喜びに満たされます。博士は異邦人でしたが、救い主に会うために遠くから出向き、イエス様を礼拝し、高価な贈り物をささげました。そして信じたのです。私たちもイエス様に出会うために、教会学校に毎週出席しましょう。

●ワークについて

私たちの心の中にイエス様が住んでおられるか確認しましょう。書いているもの以外のものもあるかもしれないので、質問するのも良いかもしれません。

12/21

●話し方のヒント

神様はなぜ、イエス様をこの地上に誕生させたのでしょうか。イエス様は、神様から私たちへの贈り物です。私たちには罪があります。この罪のために、神様はイエス様を贈ってくださったのです。イエス様がお生まれになったのは十字架にかかるためでした。それも私たちの罪の身代わりとしてです。ここに本当の愛があります。そして、この愛を知ったなら、お互いに愛し合うことが大切なのです。みなさんはお友だちと仲良くしていますか。神様は自分の命を投げ出してまで、私を愛してくれました。私たちも周りのお友だちを大切に、仲良くしましょう。

●ワークについて

み言葉を覚え、確認できるようクリスマスの飾りを作ります。

12/28

●話し方のヒント

この1年、みなさんはどんな年でしたか。私たちは、毎週日曜日、礼拝で神様に賛美をささげ、神様の言葉を聞いています。賛美は喜びと感謝のあらわれです。みなさんは喜んで賛美していますか。また、先生が話してくれるお話は神様の言葉で、神様のみこころを知るために大切なことです。私たちは毎週、神様のお話を聞きました。神様の言葉を聞いて、みなさんはどうしましたか。従うことは、私たちにとって幸いなことです。しかし、従わなかったなら、どうでしょう。神様はお心を痛め、悲しい思いをされるでしょう。新しい年も、神様を心から賛美し、礼拝しましょう。

●ワークについて

賛美人形を作ります。全員が完成したら、みんなのものを集めて、聖歌隊のように飾ってみてください。